

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	ごみ焼却プラント設備改修事業			事業コード	1424
担当課等	所属名	環境部 クリーンセンター		担当係名	
	課長名	田中茂行	担当者名	環境部 クリーンセンター	電話番号 5217

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	環境との共生	コード 6	施策	生活環境の保全	コード 1
	基本事業	環境衛生の確保	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 4款 2項 3目 ごみ焼却事業(005-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒(開始年度 10年度～)					
事務事業の概要	可燃ごみの焼却を安全かつ安定的・経済的に行うため、ごみ焼却および余熱利用にかかる各種設備機器の改修工事を行う					
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条の2、大気汚染防止法第1章第3条・第4条、電気事業法第55条					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
<p>クリーンセンターは平成10年度から稼働しているが、高温・多湿の条件に加え24時間連続燃焼による設備機器の磨耗や疲労等による劣化が目立ち始めてきたことから、施設の延命化対策として計画的に設備の改修工事を実施することとし、別途実施している定期点検業務委託の成果を踏まえながら、稼働4年目の平成13年度から当該事務事業を実施している。</p>						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
<p>平成15年6月市議会定例会において、施設改修計画と当該年度の工事内容について情報公開を要望された。 平成18年～平成20年6月市議会定例会において、競争性の確保及び積算額の更なる適正化について、検討を継続するよう意見が寄せられた。また、平成22年度環境部に対する包括外部監査が実施された際、指摘ないし意見ではないが、結果の項に、契約金額の更なる適正化、低減化のため、更に検討を要するという記述が為された。</p>						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
<p>平成10年度から運転開始以来平成18年度に初めて年度を通して排ガス基準値超過回数ゼロを達成して以降、平成22年8月14日まで排ガス基準値達成連続日数記録を継続していたが平成22年8月15日にCO濃度基準値超過し、連続記録が途切れてしまった。原因究明の上再発防止を誓い、以降現在まで再び基準値超過回数ゼロ日数を伸ばし続けているが、引き続き安定的な施設の稼働と公害防止協定の遵守を求められている。改修工事費は、特別枠として予算額が計上されており、成果目標を確実に達成することが当然の責務として求められている。</p>						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 施設の数	単位	施設
			B. 設備の種類	単位	設備
			C. 盛岡地域住民	単位	人
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 施工設備の種類	単位	設備
			B. 施工費	単位	千円
			C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 1基以上の焼却炉停止を伴う故障発生件数 【指標の性格:○上げる ●下げる ○維持する】	単位	件
			B. 設備の損耗等に起因する排ガス基準値超過回数 【指標の性格:○上げる ●下げる ○維持する】	単位	回
			C. 施設稼働率((実績稼働日数/計画稼働日数)×100) 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】	単位	%
⑦結果 (上位基本事業の意図・上位の基本事業にどのように貢献する)	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	焼却処理施設での年間処理量(単位:t) 資源ごみ処理施設での年間処理量(単位:t) 粗大ごみ処理施設での年間処理量(単位:t) 生活公害に関する苦情件数(単位:件) 市営墓園利用率(市営墓園使用区画数/市営墓園墓地数)(単位:%)		

【か】

A horizontal line with four vertical tick marks. The first tick mark is at the left end, followed by a second, a third, and a fourth at the right end. The space between the first and second tick marks is the largest, followed by the space between the second and third, and the space between the third and fourth. The space between the fourth tick mark and the right end of the line is the smallest.

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	施設の数	施設	1	1	1	1	1	1	26年度
対象 指標B	設備の種類	設備	12	12	12	12	12	12	26年度
対象 指標C	盛岡地域住民	人	230,044	229,770	229,770	229,756	229,756	229,756	26年度
活動 指標A	施工設備の種類	設備	10	8	9	8	10	8	26年度
活動 指標B	施工費	千円	335402	307506	380,000	356,885	444,925	502171	26年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	1基以上の焼却炉停止を伴う故障発生件数	件	0	0	0	1	0	0	26年度
成果 指標B	設備の損耗等に起因する排ガス基準値超過回数	回	0	0	0	0	0	0	26年度
成果 指標C	施設稼働率((実績稼働日数/計画稼働日数)×100)	%	100	100	100	99.17	100	100	26年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	335,402	307,506	380,000	356,885	444,925	502,171	*****
財源 内訳	④国	千円		66,675	122,955	122,955			*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	335,402	240,831	257,045	233,930	444,925	502,171	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	335,402	307,506	380,000	356,885	444,925	502,171	*****
	延べ業務時間数	時間	710	820	810	810	942	942	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	2,840	3,280	3,240	3,240	3,768	3,768	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	338,242	310,786	383,240	360,125	448,693	505,939	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由:ごみ焼却に係る設備等を計画的に改修し、機器類の故障に起因する突発的な稼働停止及び排ガス濃度基準値超過を予防することは、施設の安定した稼働につながり、それによってごみの適正処理を図ることが出来る。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他 理由:
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由:対象は、盛岡地域住民が排出する可燃ごみを焼却する施設の設備であり、既定のものである。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由:年次計画による計画的な設備の改修は、施設を長期に渡って安全かつ安定的に稼働させるため必要不可欠な事項であり、変更の余地は無い。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容:もともと成果目標の完全な達成を当然の責務として求められており、成果そのものをこれ以上向上させる余地はないが、改修箇所の精査及び改修対象設備の拡充によって、より信頼性を向上させ、ひいては施設そのものの延命に資することは可能と思われる。また、設備更新の際、省エネ効果のあるものに代替することが可能であれば、運転費用節減やCO2排出量削減等の間接的な効果が期待できる。(H22年度にはごみクレーン1基を、既設の電動機等を再利用しながらサイリスタ制御方式からインバータ制御方式へと改造し、使用電力のピークを抑えることによって、主に買電機会の減少を実現した。)
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容:安全かつ安定的な可燃ごみの焼却が出来なくなることにより、施策の目的を実現することが不可能となる。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由:
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を節減できる余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 削減できない	その内容:施設点検整備委託の結果を踏まえて長期改修計画の内容を適宜精査見直しし、効率的に事業費を配分することによって、全体的な事業費を縮減できる可能性がある。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由:事務処理以外は請負工事費である。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:ごみ焼却施設という施設の性格上、その受益機会は旧盛岡地区住民全体に等しく関わる。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:ごみ焼却施設の設備機器の維持管理費は、ごみ処理手数料算定根拠のひとつであり、受益者負担による適

| 正化の余地はある。 |

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革/改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 代替案その1=平成20年度に全面的な見直しを行なった長期改修計画について、平成22年度までの実績及び平成23年度の予算等を反映し、より実現可能性が高く、施設故障の可能性の少ない適正な計画とするために、長期計画の見直しを行なう。 代替案その2=上記計画による設備更新の際、省エネ効果やCO2削減効果についても検討を行い、運転費用の節減及びCO2排出量削減を目指す。 代替案その3=盛岡市域全域の均衡を目指して、手数料の見直しを図る。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 長期改修計画を見直しの際は、必要な全体事業費の算出と縮減策が課題と考えられる。厳しい財政状況下で、予防的事項に対する市独自の予算の増額はより難しくなっていることから、各年度の改修内容を精査するとともに、交付金の導入等、新たな財源の可能性についても検討する必要がある。</p>
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ③ 効率性 ○ 妥当 ● 見直し余地あり : ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>この事業は、必要性及び有効性に一定の評価がある一方、見積精度の向上などが求められていることから、今後とも積算方法の見直しや発注内容等の精査、検討を要する。</p>							
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3"> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>工事費積算の妥当性などの検討について、関係方面から求められていることから、今までの積算データや他都市の情報を活用し検討を進める必要がある。また、長期計画の練り直しに当たっては、全体事業費の精査のほかごみ処理広域化推進の動向にも留意する必要がある。</p>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携							
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止								